

平成 29 年(2017 年)11 月 6 日

保護者の皆様
生徒の皆さん

札幌市立中央中学校
校長 橋本 敏昭

「全国学力・学習状況調査」の結果について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年に引き続き今年も 4 月 18 日全国一斉に、小学校第 6 学年と中学校第 3 学年の児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その目的は、全国的な義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることにあります。その調査結果が、先日、文部科学省より公表され、本校第 3 学年の生徒一人一人に個人票を配付したところです。

つきましては、本校生徒の学力調査の結果と課題や改善の方向及び学習状況について、保護者の皆様にお知らせしますので、是非ご覧いただき、今後の学習に役立てるようご配慮いただければ幸いです。第 3 学年の生徒本人および保護者の方は配付しました個人票と併せてご覧ください。

なお、本校は学校間の序列化や過度の競争につながることを避ける意味から、本市の他の学校同様に平均正答率などの数値結果を公表いたしません。ただし、質問紙調査についてのみ、適宜必要な項目を選択し、全国平均と比較しつつ説明しております。さらに中央中学校のホームページ (<http://www.chuo-j.sapporo-c.ed.jp/>) においても結果をご覧いただけます。

本調査結果に係るお問い合わせにつきましては、直接本校教頭 中山までご連絡くださるようお願いいたします。

保護者の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(中央中学校 TEL 2 4 1 - 6 2 6 6)

【国語科】

1 本校の概要

(1) 主として「知識」に関する問題（A）について

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質にかかわる事項」の全領域において、平均正答率は全国平均を上回っています。
- ・特に、楷書と行書を区別することや、様々な種類の古典作品についての知識において、平均正答率は全国平均を大きく上回っており、書写や古典の授業で身に付けた知識が定着していることが分かります。

(2) 主として「活用」に関する問題（B）について

- ・無回答率の低さ（解答欄に何も記入しない生徒が少ないこと）が全国平均を上回っており、本校の生徒は知識を活用して粘り強く問題に取り組んでいることが分かります。
- ・特に、集めた材料を整理して文章を構成することの平均正答率は全国平均を大きく上回っています。また、記述回答を求める問題が3問ありましたが、全て全国平均を上回っています。

2 今回の調査における課題

- ・語句の意味を理解して文脈の中で適切に使うことと、敬語の使い方について課題があります。
- ・提示された条件に沿って答える力に若干の課題が見られます。

3 改善の方向

- ・授業における短文作成と相互交流を通して、語句を適切に用いた文章づくりができるよう指導します。また、慣用句や故事成語についての知識を深める場面を設定します。
- ・敬語の使い方については、適切な例を提示し、時と場に応じて用いる指導の充実を図ります。
- ・指定された条件（指定語句、字数や書き換えなど）を最初に確認して問題に取り組むよう指導します。

【数学科】

1 本校の概要

(1) 主として知識に関する問題（A）について

- ・「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全ての領域において、平均正答率は全国平均を上回っています。
- ・「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」においても全国平均を上回っています。

(2) 主として活用に関する問題（B）について

- ・「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全ての領域において、平均正答率は全国平均を上回っています。
- ・記述回答を求める問題が5問ありましたが、平均正答率は全国平均を上回っていません。

2 今回の調査における課題

- ・「数と式」の領域において、与えられた等式を特定も文字について解くなど、等式を目的に応じて変形することに課題があります。
- ・「関数」の領域において、二元一次方程式を関数と捉え、グラフを読み取る力に課題があります。

3 改善の方向

- ・文字を使った加減乗除の計算と等式の性質を再確認し、定着を図る場面を設定します。
- ・二元一次方程式は、等式の性質をもちいることで一次関数へと変形でき、式だけではなくグラフにも表すことができることを再確認し、定着を図る場面を設定します。

《全国平均との正答率の比較》

- ・「上回っている」 ⇒ +3.1 ポイント以上
- ・「ほぼ同程度であるが、やや上回る」 ⇒ +3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上
- ・「ほぼ同程度」 ⇒ 全国平均と同じ
- ・「ほぼ同程度であるが、やや下回る」 ⇒ -3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下
- ・「下回っている」 ⇒ -3.1 ポイント以下

【学習状況（生徒質問紙調査での全国平均との差異）】 平成29年度 第3学年

1 全国と比較して肯定的回答が多かった項目 (単位：%)

| 番号 | 質問事項 | 本校 | 全国 | 差 |
|----|--|------|------|------|
| 1 | 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか（そう思わない生徒の数） | 32.7 | 15.9 | 16.8 |
| 2 | 家で、学校の授業の予習をしていますか | 25.0 | 11.3 | 13.7 |
| 3 | 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか | 29.8 | 16.1 | 13.7 |
| 4 | 読書は好きですか | 58.7 | 46.1 | 12.6 |
| 5 | 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか | 54.8 | 43.0 | 11.8 |
| 6 | 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか | 32.7 | 21.3 | 11.4 |
| 7 | テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか | 26.0 | 14.8 | 11.2 |
| 8 | テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む） | 62.5 | 51.8 | 10.7 |
| 9 | 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか | 47.1 | 36.6 | 10.5 |
| 10 | 自分には、よいところがあると思いますか | 38.5 | 28.2 | 10.3 |

2 全国と比較して肯定的回答が少なかった項目 (単位：%)

| 番号 | 質問事項 | 本校 | 全国 | 差 |
|----|--|------|------|-------|
| 1 | 家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか | 24.0 | 52.4 | -28.4 |
| 2 | 1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか | 36.5 | 47.6 | -11.1 |
| 3 | 学校の規則を守っていますか | 51.9 | 63.0 | -11.1 |

自分自身に関することとして「自分には、よいところがあると思いますか」についての肯定的な回答が多いことから、自己肯定感が高い傾向が分かります。「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか」や「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか」について積極的な回答が多いことから、よりグローバルな見方や考え方をもちたいと考えている傾向が分かります。また、他者とのコミュニケーションについても、教科の授業や総合的な学習の時間で相手の立場を尊重しつつ、自分の意見を表明できる傾向が分かります。さらに、普段からの読書習慣が身に付いており、文章で説明したり書いてまとめることをいとわない傾向が分かります。

肯定的な回答が少なかった項目である「学習の目標やまとめを書く」については、今以上に主体的な学びを促す授業づくりを推進し、規範意識については道德教育で一層の取組を進めます。

さらに、公開授業をはじめとする学校行事への案内を充実させ、保護者の皆様の積極的な参加を促したいと考えております。